

# 土壌微生物叢アトラスに基づいた環境制御による 循環型協生農業プラットフォーム構築

早稲田大学 理工学術院・竹山春子



## 私達のプロジェクト（MS502）が目指すこと

- 1 環境負荷の少ない循環型の農業の実現に向け、これまでブラックボックスとされてきた土壌の生物性に着目し、**植物が健康に育つために必要な生物学的因子の特定や、土壌環境の改良に資する有用微生物資材の開発**を目指します。
- 2 私達は、未来型の食料として「ダイズ」に着目し、持続的な食料供給産業の創出に向け、植物の土壌栽培に適する要件、つまり「**健康な土壌とはなにか**」の定義づけを目指します。
- 3 また、ビッグデータを用いた解析を活用することにより、**農業の活性化や未来型食生活に向けた食料生産体制の促進**を目指します。
- 4 開発した技術の社会実装を目指し、**産官学民金での連携**に取り組みます。





最先端実験（実証）データを基にした  
アプローチ【実験科学的アプローチ】



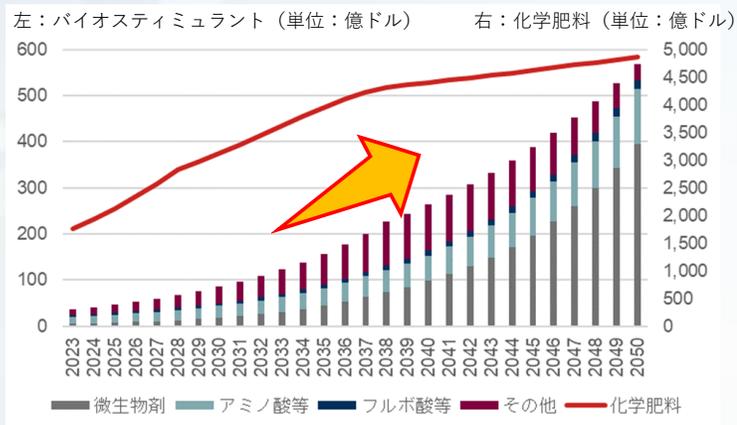
新たな社会的価値・経済性を基にした  
アプローチ【社会科学的アプローチ】



イノベーション  
循環型協生農業  
ビジネス

食  
農業  
環境  
の課題を解決する

## バイオスティミュラントの市場予測



- 環境負荷の大きな**化学肥料**に代わる**バイオスティミュラント（微生物資材）**に注目が集まっている。
- 環境中の有用な微生物を活用することで、新たな資材を開発することを目指す。

## 独自の技術を組み合わせながら、土壤データを収集・解析・応用

